

特許抄録

第 21 卷 第 2 號 昭和 10 年 2 月

アスファルト舗装方法

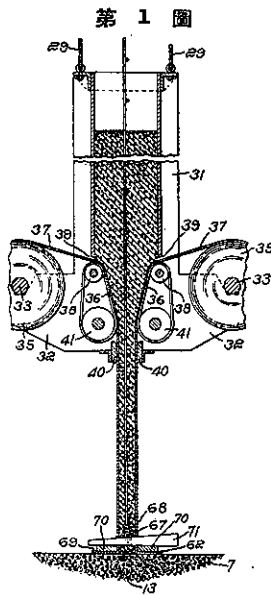
(特許第 106367 號 出願 8-12-9)
發明者 坂井萬助氏
特許權者 合資會社昭和土木工業

此の發明は、特許第 101774 號(本誌第 19 卷第 10 號参照)の改良に係る發明であつて、原發明の資料に更に二酸化マンガンを添加する事に依り、施工上硬化を著しく促進し、且つ仕上面を平滑ならしめたものである。

壁を構成する方法

(特許第 108404 號 出願 7-12-20)
特許權者 (發明者) レヴィール,
ウインテエステー・ドレッサー氏

此の發明は、底部に加壓装置、例へば 1 對の無端帶(36)を設けたる漏斗(31)を通じて、壁の平面に補強材を配置し、漏斗中に粘性セメント質材料を注入し、漏斗を上昇せしむる事に依り、加壓装置を動作して、其の下端より、補強材の兩側に、粘性セメント質材料を壓縮しつつ押し出し、同時に前記材料の兩側に可撓板を施して、材料が凝固する間、補強材より脱落せざるやう支持せしめたる壁の構成方法であつて、以て型枠を使用する事なく、水の含有量の極めて少きセメント質材料を補強材の兩側より壓接する事に依り簡單迅速に壁を構成せんとするものである(第 1 圖参照)。

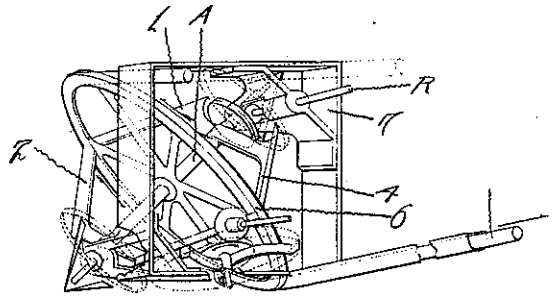


鑿孔装置

(特許第 108431 號 出願 8-9-28)
特許權者 (發明者) 土田五郎氏

此の發明は、容易に正方形、矩形を有する隧道其の他を鑿通する機械的装置を目的としたもので、即ち第 2 圖に示す如く、動力を以て廻轉する廻轉軸(A)に 1 箇又はそれ以上の削刃(1, 2)を固着し、軸(A)の廻轉に依つて、削刃が作る廻轉立體を、軸の進行する方向と直角なる平面にて切り得る断面を、正方形、矩形たらしめ、廻轉軸(A)を前進又は後進せしむ可くなしたる鑿孔装置である。

第 2 圖

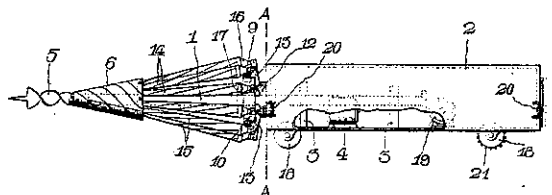


地下穿孔機

(特許第 108441 號 出願 8-10-3)
特許權者 (發明者) 藤村多田志氏

此の發明は、地下を横掘する穿孔機の改良であつて廻轉軸(1)に圓錐螺錐(6)と連続せしめて、之と反対方向の螺絲(15)を刻せる數本の轉子(14)を、圓錐狀に配架したる壓縮装置を窄細し得べくして設け、更に前

第 3 圖



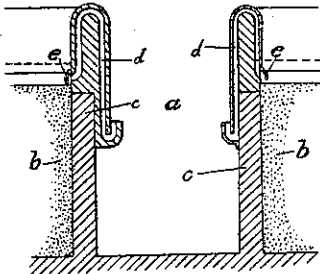
記廻轉軸は進退し得る匣(2)に横架し、廻轉し得べからしめたる地下穿孔機であつて、この構造の故に螺錐にて掘穿したる上、引續き壓擴装置にて強壓し、孔を擴大しつゝ連續穿孔すべからしめ、更に壓擴装置を窄むる事に依り之を孔壁より分離せしめて、全装置の後退を容易ならしめ得るものである(第3圖参照)。

濾 過 装 置

(特許第 108460 號 優先權主張 7-12-10)
(特許權者(發明者)ウイリアム・パターソン氏)

此の發明は、石英砂其の他の濾砂より成る濾床(b)に、洗砂用水を逆流せしめ、又場合に依つては、之に壓縮空氣を送入して攪亂を起さすことに依つて、其の濾床を浮游状態に保つて、之が掃除を隨時施行すべくなしたる種類の濾過装置の改良に係り、濾床の掃除後殘留する汚水を自動的に排出し、而も其の際、濾砂の流出に因る損失を來たす虞なからしめんために、濾床面に接近して僅かに上位なる點より、排泥樋(a)に互りてサイフォン(d)を架設し、サイフォンを隨時必要

第 4 圖



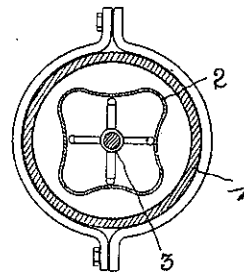
に應じて、或は無能状態に、或は有能状態に置くべき施設をなしたものである(第4圖参照)。

遠心力利用鐵板入可塑管製造装置

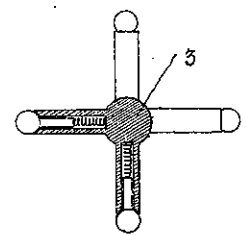
(特許第 108568 號 出願 8-6-13)
(發明者 都築市三氏)
(特許權者 大同コンクリート工業株式会社)

此の發明は、任意聯動装置に依り、廻轉する管狀母型(1)の中心に、圓筒内に螺旋撥條を收容し、其の一端を圓筒の底部に固定し、他端に重錘を取付け、前記圓筒を十字形に突設したる軸杆(3)を廻轉自在に挿通架設すべくなしたる遠心力利用鐵板入可塑管の製造装置であつて、軸杆(3)を廻轉すれば、遠心力に依り重

第 5 圖



第 6 圖



錘は撥條を伸延して突出し、鐵管(2)の内方に形成せしめたる凸條を強打し、以て鐵管の外表面層の内面に密着せしめ得るものである(第5圖、第6圖参照)。

急結性セメントの製造法

(特許第 108572 號 出願 7-10-29)
(特許權者(發明者)中村廣太氏)

此の發明は、ポートルランド・セメントに、常温に於て水素を吹込むか又は水素氣流中にセメントを入れ、然る後少量の鹽酸を加へ、攪拌して成る急結性セメントの製造法である。